# SPring-8運転・利用状況

## 財団法人高輝度光科学研究センター 計画管理グループ

平成10年12月の運転・利用実績

SPring-8は12月2日から第13サイクルの運転を、3 週間連続運転モードで実施した。

その後の12月20日から平成11年1月24日までは、 冬期の長期停止期間に入りビームラインの増設、各 設備及び機器の点検・設置作業等を実施した。

第13サイクルでは、蓄積リング冷却水の流量の低 下による停止が集中し、放射光総利用運転時間(ビ ームタイム)内での故障等による停止時間は約6% であった。

放射光利用実績については、実験された共同研究 課題は合計49件、利用研究者数は211名にのぼった。

### 1. 装置運転関係

(1)運転期間

第13サイクル(12/2(水)~12/19(土))

(2)運転時間の内訳

運転時間総計 約415時間

装置の調整、およびマシンスタディ

約80時間

放射光利用運転 (ビームタイム)時間

約316時間

ビームタイム内の故障等によるdown time

約19時間

総利用運転時間( + )における

down timeの割合 約6%

### (3) 運転スペック等

- ・マルチバンチ運転(2/3フィリング運転)
- ・蓄積電流 1 ~ 70mA
- (4) 主なdown timeの原因

蓄積リング冷却水流量低下によるInterlock 機器の誤操作による非常停止等

### 2. 利用関係

(1)放射光利用実験期間

第13サイクル(12/3(木)~12/19(土))

### (2) ビームライン利用状況

稼動ビームライン 共用ビームライン 10本

R&Dビームライン 1本

理研ビームライン 2本

原研ビームライン 2本

専用ビームライン 1本

利用研究課題 49件 利用研究者数 211名

(3)トピックス

第13サイクルのビームタイムのビーム入射は前 サイクルと同様に午前9時30分の1回 / 1日の入 射とし、試行的にビームタイムの開始を1日繰 リ上げ12月3日(木)の午後3時から行った。

平成11年1月25日から2月12日までの、立ち上げ 調整期間及び総合試験期間(第1サイクル)は 機器の調整等を行うサイクルでユーザーにビ ームタイムを配分していなかったが、スケジ ュールの見直しにより4日間のビームタイムの 配分ができる見通しがついたため、緊急に課 題の募集を行った。

### 3. ニュースバル関係

前サイクルに引き続いてコミッショニングを継続 して行った。

### 平成11年1月の実績

SPring-8は平成10年12月20日から1月24日まで冬 期の長期停止期間として以下の作業、点検等を実施 し予定通り終了した。

引き続いて1月25日から2月12日まで立ち上げ調整 期間及び総合試験期間(第1サイクル)の運転を3週 間連続運転モードで実施する予定である。

### 1. 冬期の長期停止期間中の主な作業

(1) 線型加速器関係

シケイン設置作業

電子銃メンテナンス作業 各種点検作業

(2)シンクロトロン関係 制御系統合化作業 クライストロン圧力計交換作業 RFキャビティCCG交換作業 各種点検作業

(3) 蓄積リング関係

ビームラインの増設 挿入装置部チェンバー交換作業 電磁石流量調整用バルブ取付作業 モニター機器用ゲートバルブ増設作業 FE専用冷却水循環装置作業 各種点検作業

(4)ユーティリティ関係 各種点検・改造作業

(5)安全管理関係

マシン収納部天井貫通孔鉛遮蔽体作業 インターロックロジック改修作業 各種点検・改修作業

- 2.立ち上げ調整及び総合試験期間(第1サイクル) 1月25日から2月12日までの立ち上げ調整期間及 び総合試験期間(第1サイクル)は新規に設置さ れた機器や改造等を行った機器の立ち上げ調整と 総合試験を行う。また、サイクル後半からユーザ ーへの放射光の提供を行う期間である。ビームタ イムの予定は以下のとおりである。
- (1)放射光利用実験期間 第1サイクル(2/8(月)~2/12(金))
- (2)放射光利用実験期間の運転スペック等
  - ・マルチバンチ運転(2/3フィリング運転)
  - ・蓄積電流1~70mA
- (3)放射光利用実験期間のビーム入射時刻午後3時の1回/1日の入射。

#### 今後の予定

- (1)2月17日から4月16日まで3週間連続運転モードで3サイクル(第2~4)の運転を行う予定である。(詳細については「SPring-8運転計画」を参照)
- (2)第2サイクルから第6サイクル迄の運転フィリングモードについては、セベラルバンチで運転する予定であるが、今後の検討によっては変更される可能性がある。詳細な運転モードについては決定しだいユーザーに報告する。

(3) 第2サイクル以降もビームタイム開始日を1日繰り上げ、サイクルが始まる週の木曜日の午後3時から行う。

### 平成11年度のSPring-8運転計画

SPring-8では平成11年度(11年4月~12年3月)の運転を以下のように計画している。但し、<u>本計</u>画は現在のところ確定されたものではなく、今後の検討によっては若干修正される可能性がある。正式に運転計画が決定され次第、SPring-8ホームページや利用者情報誌でお知らせするとともに、利用者には直接通知する予定である。

(1)運転予定表

図1に平成11年度(1999年度)の運転計画を示す。

(2)運転計画の内訳

#### サイクル数

平成11年度は合計13サイクル(平成11年; 第4~第12、平成12年;第1~第4)の運転を 予定している。

1サイクル当たりの期間

1サイクル当たりの期間は、原則3週間連続 運転モードで行う予定である。

#### 運転停止期間

サイクル間の運転停止以外の主な長期運転 停止期間は、以下の通りである。

- ・中間点検 5月1日~5月11日
- ・夏期停止 7月3日~10月1日 (マシン及びビームライン調整期間も含む)
- ・冬期停止 12月25日~平成12年1月18日 (マシン及びビームライン調整期間も含む)
- (3) 運転スペック等

各サイクルの詳細な運転スペック(蓄積電流値やバンチ運転、フィリング等)については、利用者の要望等を踏まえ、各サイクル開始前に開催される「スケジュール調整会議」で、検討・調整をする。

会議で決定された運転スペックについては、すみやかにSPring-8ホームページなどでお知らせするとともに、利用者には直接通知する。

### (4)注意事項

長期停止期間については、今後の検討により変更される可能性がある。また、停止期間中に設置、増設されるビームラインや挿入装置についても変更される可能性がある。(特に夏期停止期間)

